日本語教育機関のための自己点検・評価シート

更新日：2026年4月

日本語教育機関名：SGG外語学院大阪校

項番	点検・評価項目	内容	評価
1 理念・教育目標			
1.1	【理念】	単なる語学教育機関ではなく、日本語教育を通じ人間を育てる「総合教育機関」として学生一人一人に寄り添った教育、指導を行います。日本語の習得を最終目標とせず、日本語を習得し進学したその先まで考え、留学への明確な目的、将来に対する高い目標、主体性と自立心を持てるよう、幅広く多方面から教育を行います。教師は常に研鑽を積み、学生たちの指導者となり、同時に親代わりとなり、留学生活を支えていきます。	
1.2	【教育目標】	卒業後は大学・大学院・専門学校等への進学、また在学中には日本語能力検定試験N1、N2の取得を目標とします。積極的に地域と交流し、生きた日本語に触れる機会を増やすことで、日本の社会及び文化、習慣への理解を深めていきます。異文化社会において母国と日本の架け橋となる人材を育成します。	
1.3	【育成する人物像】	日本語の基礎力の習得から高等教育機関でも通用する実力者、国際社会に貢献、奉仕できる人間を育成します。多国籍、多言語の人々と人種の差異を超えて共生し、お互いに高め合い、基本的な社会規範や慣習、秩序を守り理解し合える人間を育成します。	
1.4	理念・教育目標が社会のニーズに合致したものとなっている。		A
1.5	理念・教育目標及び育成する人物像が、教職員・学生に周知されている。		A
2 学校運営			
2.1	学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしている。		✔
2.2	学校の理念・目的に沿った運営方針や事業計画が策定されている。		B
2.3	組織運営・人事・財務管理に関する規定が整備されている。		C
2.4	意思決定システム、コンプライアンス体制が整備されている。		B
2.5	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。		B
2.6	学生、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。		B
2.7	授業や運営に関する学生からの相談、苦情の担当者が特定され、適切に対処している。		B
2.8	業務の見直し及び効率的な検討が定期的、かつ、組織的に行われている。		C
3 教育活動の計画			
3.1	理念・教育目標に合致したコースを設置している。		A
3.2	教育目標達成に向けたカリキュラムが体系的に編成されている。		A
3.3	国内、または国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている。		A
3.4	教育目標に合致した教材を選定している。		B
3.5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。		A
3.6	教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られている。		A
3.7	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。		B